そのほかの「閃の軌跡」メンバーズ！

もくじ

閃の軌跡Ⅰの章 ………… P.02
閃の軌跡Ⅱの章 ………… P.10
閃の軌跡Ⅲの章 ………… P.20
閃の軌跡Ⅳの章 ………… P.27

登場人物

アルティナ・オライオン

リィン・シュバルツァー

荒久保だいすけ

監修
日本ファルコム株式会社

STAFF
制作 株式会社KADOKAWA
電撃PlayStation編集部
制作協力 株式会社フィールドワイ
デザイン 株式会社グラフィオ
印刷 図書印刷株式会社

The Legend of Heroes: Trails of Cold Steel 5th Anniversary Four-frame comics [Daisuke Arakubo]

帝国の偉人

英雄何とかを好む

高ポイント

ギスギスⅦ組

前提

俺たちに待っていたのは
「特別実習」という名目で
帝国各地をめぐる
日々だった
実習先で見たのは
帝国をとりまく様々な
きびしい現状……
Ⅶ組の生徒が
身分と無関係に編成
されていたのは、
いろいろな立場から
その現状を考えさせる
ためだったんだ
お互いの事情を
理解することで
Ⅶ組ははじめて一つに
まとまってゆくんですね
そうだな……
でもそれは人間なら
誰でも言えることだと思うんだ
教官の不埒属性も
いずれみんなに理解
されるといいですね
うん 待って
とりあえずその
俺が不埒キャラという
前提がおかしい

慰め方いろいろ

学院ではⅦ組以外にも
俺に多大な影響を
与えた人たちがいた
トワ会長を
はじめとする
先輩たちだ
アンゼリカ先輩
ジョルジュ先輩
……そしてクロウ
はは——なんだ
慰めて
くれてるのか？
聞いた話ではこんな時
してあげると良いとか
水着でお背中を
流すのもアリとも……
もしもしミュゼかな
話があるから後で
生徒指導室に来なさい

テイク2

その時リィン教官は

デキる相棒

許すお兄さん

メガネのちから

とんでもない人

ネタ殺しの騎士

重要情報

宿命の対決！

パンタグリュエルから脱出する時に駆けつけてくれたのがこの……
カレイジャス
帝国最速と謳われる高速巡洋艦ですね
オリヴァルト殿下から託されたこの紅き翼で俺は妹の救出に向かう！
えっ!? いえいえまだいろいろあったでしょう
士官学院を取り戻すためにパトリックさんと決闘したり……
あ———……あの話な———……
ものすごく
アイツもエリゼに変な気を起こさなければあんな最期を迎えることもなかったろうに……
何かすでに死んだことにされています！

脚色

この辺は妙な脚色が入らぬよう私が説明していきましょう
教官はそこでステイ
カレル離宮に妹のエリゼさんや皇帝陛下がいると知った旧Ⅶ組の皆さん
うおおおお
救出すべくカレイジャスで突入するのですが……
そんな彼らの行動を予想して待ち受けていた黒い影———
そう、私です!!
襲いかかるリィンさんたちをちぎっては投げの大活躍!!
妙な脚色入れてるのどっちだよ

あの男

クロスベルの出会い

俺なりの道

クロスベルでの事件から
ほぼ一年後……
自分の力を利用させないため
俺なりに出した答えがこの
トールズ士官学院第Ⅱ分校の
教官という道だ
レクターさんも
その発想はなかったわーと
泣いてくやしがってましたよ
いや絶対に
泣かないだろ
あの人の場合
偶然とはいえ
トワ先輩が先に
教官として着任して
いたのは驚いたな
私も偶然とはいえ
リィン教官の教え子に
なったことには
驚きを隠せず……
ふうん

問題児たち

俺が担当する
クラスは奇しくも
「Ⅶ組」だった
本校の頃と違って
1クラスの生徒は少ないが
問題児揃いだ
まずはユウナ・
クロフォード
クロスベル出身のせいか
帝国民にはきびしい一面も
俺には特にきびしい気が……
クルト・ヴァンダール
帝国の武門と名高い
ヴァンダール家の者だ
武人らしく自分に
きびしい性格だが
俺に対してもきびしい気が……
やれやれ……本当に
私以外は問題児
揃いで大変ですね
私以外は！

噂の真相

珍しく気がきく教官

彼らから学んだもの

またしても問題児たち

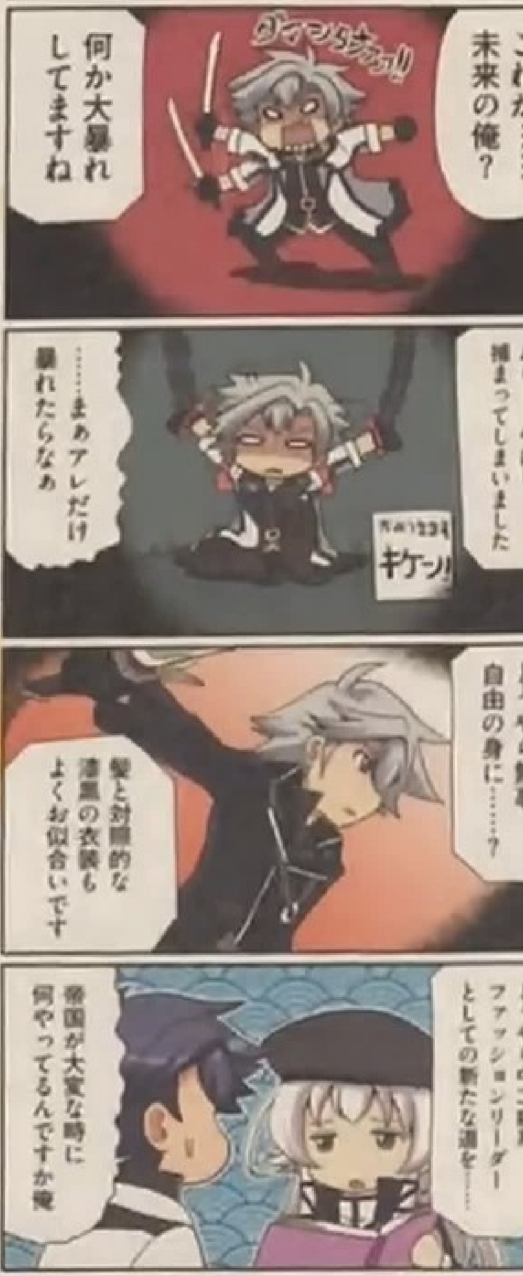
決着の時へ

俺に関わりのある
人間と言えば
コイツは外せない
《蒼》のジークフリード……
仮面を着けて
いますが正体は
やはりその……
そんなはずはない！
あるはずが……
ないんだ
近い内に奴と決着を
つける時が来る
その時こそあの
仮面をはがして……
グッ
リィン教官が
「俺の方が似合うぜー」と
装着する前に処分です
ハハハハバカだなァ
いい歳なんだから
そんなことしませんよ？
ピクピク

未来の自分

……まぁそんな感じで
現在に至る、という
ところだな
俺も定期考査の
採点があるから
この辺にしておくか
……リィン教官
もしこの先の未来
少しだけ見られると
したらどうします？
ガタ…
え……？
あるのです
太古より伝わりし
灰色の騎士の物語を
書いた禁断の書物が……
なっ……
それってまさか!?
人呼んで
どピンクの史書
何その悪意しか
感じないネーミング
不埒

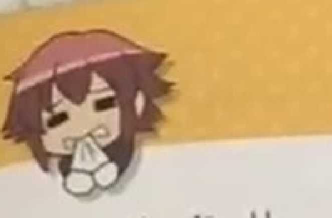
新たな俺なりの道



熱い視線の意味

ひどいオチ

アルティナレポート



あとがき

こんにちは、新久保だいすけです。
この度は電撃屋をご利用いただきありがとうございました！
以前から店頭配布の冊子などでマンガを描かせていただいていたのですが
今回ゲームに付く特典ということで、自分のマンガが購入理由の1つになるのかも…と
かなりのプレッシャーを感じつつ描かせていただきました！

過去にいろいろなメディアで描いたことのある場面をもう一度…ということで
「描けるかなぁ…？」と少し不安ではあったのですが、
リィン視点で過去を振り返るというシチュエーションは
なかなかに新鮮な気分でした。
他のキャラ視点で描いても面白そうですね。デュバリィとか（笑）
ファルコム作品の中でも『閃の軌跡』は最初から攻略本や冊子などでかかわってきたので
親戚の子どもの成長を見守るようなちょっと特別な思い入れはありますね。
これを書いている時点では当然まだゲームをプレイしていないので
どんな結末になるか全く知らないのですが
今回は『閃の軌跡』完結編とのことなので、
リィンたちの笑顔が見られることを願ってやみません。

『軌跡』シリーズ全体の完結まではまだまだ先は長そうですが
最後にはみんなに幸せな結末が待っていると信じて…！

僕もこの幸せな場所で『軌跡』シリーズを見守り続けられるように
これからもガンバリ続けたいと思います。
それではまた、別の作品でお会いできることを楽しみにしております！

新久保だいすけ